

第80回 院内コンサート

♪ 演奏者プロフィール ♪

おだぎり かずえ
ソプラノ:小田切 一恵さん

国立音楽大学声楽科卒業。座間日本歌曲コンクール第3位。日本演奏家コンクール第3位。東京音楽コンクール、並びにイタリア声楽コンクール入選。オペラでは、「魔笛」パパゲーナ、「コシ・ファン・トゥッテ」デスピーナ、「リゴレット」ジルダ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「こうもり」アデーレ、「不思議の国のアリス」アリス、「トゥーランドット」リユー、新作初演「みすゞ」、藤原歌劇団公演「フィガロの結婚」バルバリナーナの他、P.コンヴィチュニーオペラ演出アカデミー「ラ・ボエーム」ムゼッタ役で参加。中村浩子、岩崎由紀子両師に師事。藤原歌劇団団員。横浜シティオペラ、横浜音楽文化協会、日本演奏連盟各会員。



たなか たけし
ピアノ:田中 健さん



東京音楽大学卒業。同大学院伴奏科修了。同大学声楽科伴奏助手を9年間勤めた。サントリーホール・オペラアカデミー第2期修了。メトロポリタン歌劇場等コーチ陣による『TIVAA オペラワークショップ 2018』に奨学生として受講。主に声楽分野の共演ピアニストとしてニューヨーク国連本部『日本歌曲コンサート』、BS-TBS『日本名曲アルバム』、皇后陛下ご臨席の下での『アイメイトチャリティーコンサート』等演奏会や放送に於いて、佐野成宏、新垣勉、中嶋彰子等、著名アーティストとの共演を重ねている。



日時 : 平成31年2月16日(土) 13時30分～
場所 : 亀田病院 新館待合ホール

協力 : 横浜音楽文化協会

プログラム

* G.Fヘンデル作曲:歌劇「ジュリアス・シーザー」より
この胸に息のある限り

* G.Fヘンデル作曲:歌劇「ジュリアス・シーザー」より
嵐の海で難破した小舟は

バロック音楽の最も重要な作曲家であるヘンデルは、今年没後 260 年。このオペラは、ローマの将軍シーザーがエジプト遠征に行った際、エジプトのクレオパトラや国王トロメオとのかかわりをめぐる物語。クレオパトラの絶望の中で歌うアリアと、一貫して喜びの感情が表現されているアリア。対照的な表現の 2 曲です。

* C.ドビュッシー:星の夜 マンドリン ピエロ

「星の夜」は 18 歳の時の最初の歌曲で、星のまたたきを表現しているピアノが優雅な雰囲気を感じます。マンドリンは、軽快なテンポにのせ、楽器マンドリンをつま弾いている伴奏が面白い作品。「ピエロ」は滑稽でいつもおどけている様子。その陰にある寂しさも感じます。

* C.ドビュッシー:月の光 (ピアノソロ)

* G.フォーレ:蝶と花 わたくしたちの愛

「蝶と花」は、16 歳の時の最初の歌曲作品。「わたくしたちの愛」では、愛する二人の喜びを高らかにうたっている。

* E.ショーソン:蜂雀

ショーソンは、およそ 40 の歌曲を作曲。ロマン的な様式を持ったこの小さな愛の歌は、もの悲しく哀愁をおびた美しい作品。

* 橋本国彦:お六娘

林柳波のユーモラスな詩にのせて、橋本国彦の日本民謡風の音楽が生き生きと表現されています。彼は、ドビュッシーやラヴェルの傾向をいち早く取り入れ、日本歌曲に活かした作曲家。